令和5年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【大谷場小学校】

① 目 標・策

	目 標		策
知識・技能	令和5年度さいたま市学習状況調査（国語・算数）の「知識・技能」の平均正答率を、さいたま市平均よりも上回るようにする。	⇒	デジタル教材を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。また、習熟度別学習を取り入れる等、個別最適な学びが行えるよう児童の習熟状況に応じた指導を行う。
思考・判断・表現	令和5年度さいたま市学習状況調査（国語・算数）の「思考・判断・表現」の平均正答率を、さいたま市平均よりも上回るようにする。	⇒	協働的な活動を多く取り入れ、自分の頭で考え、その考えを自分の言葉で適切に表現したり、相手意識をもって、自分の考えを伝え合ったりする言語活動を充実させた授業を実践する。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒	授業において、児童が主体的に課題を見いだし、解決する場を設定する。また、道徳の授業研究を通して、何事にも「やってみよう」と挑戦する心や、自分の頑張りを素直に認めたり他者の頑張りを見つけ認めてあげたりができるような心を育成する。

② 全国学力・学習状況調査結果・分析

知識・技能	令和5年度全国学力・学習状況調査（国語・算数）の「知識・技能」において、全国平均と比較し、国語と算数ともに上回った。しかし、算数における「正三角形の意味や性質」についての問題の正答率が、他の問題に比べて低かった。より一層、朝のパワーアップタイムを活用したり習熟度別学習を行ったりしながら、児童一人ひとりに合った問題を反復し、習熟していくよう努める。
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査（国語・算数）の「思考・判断・表現」において、全国平均と比較し、国語と算数どちらも上回った。しかし、国語は、「書くこと」の領域が全国平均を下回った。自分の考えを書いたりまとめたりすることに関して多くの児童が苦手としていることが分かる。文章から要点を読み取ったり、自分の考えを限られた文字数でまとめたりする活動を重視していく。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度全国学力・学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は84%で、目標とする値には届かなかった。「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目においても、肯定的な回答の割合は全国平均を上回ったが81%であった。より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。

③ 中間期見直し（全国学力・学習状況調査結果分析後）

	目 標		策
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし

④ さいたま市学習状況調査結果・分析

小3		小4	
小5		小6	

⑤ 目 標・策の達成状況

		評価（※）
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価　A 8割以上（達成）B 6割以上（概ね達成）C 6割未満（あと一歩）

⑥ 次年度への課題と改善策

知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	